



no_name

楠 本 孝 美

Kusumoto_Takami

2017.6.20 tue — 7.2 sun

Gallery **P A R C**

GRAND MARBLE

no_name

楠 本 孝 美

Kusumoto Takami

2017年6月20日[火] — 7月2日[日] 月曜休廊 11:00 — 19:00 金曜日は20:00まで



【広報画像01】 イメージ画像(本展DM使用画像)

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2017年6月20日[火]から7月2日[日]まで、楠本孝美による個展「no_name」を開催いたします。

楠本孝美(くすもと・たかみ/1985年生まれ・長野県)は、近年、転写や型取りなどによる「うつす」をプロセスに持った作品制作に取り組んでいます。しかし、その「うつす」行為は完璧なコピーを目指されたものではなく、むしろ楠本自身によって「うつせない」が生じるように仕向けられているともいえます。

たとえば楠本はガラスの上にインクでイメージを描き、そこにシリコンを流し込み、固めることでイメージを転写します。しかし、インクの濃淡や偶然によりインクは完全に転写されず、シリコン上にはうつし取られたインクと共に、うつし取れなかったインクの厚み(凸)に相対した凹みが生じます。ここではシリコンにインクという「物質」が移動する「うつす」と、インクという物質の「存在」を「うつす」ことが同時に起きているといえ、楠本が描いた(選択した)イメージは、意図と偶然、インクとシリコンの凹みなど、意味や在り方においてズレやブレといった「うつしまちがい(エラー)」を含んだ「何か」として転写されています。

楠本はこうした作品制作にあたって『未知を取りこぼさないため』という言葉を使います。

私たちは常に「未知」と出会っているといえます。しかし、その「未知」は過去の経験や知識、形式や文法といった類型などから想像することで、瞬間に「概知」として認識し、それに準じた最適な見方を当て嵌めます。また、この「未知から既知」へのタイムラグがあまりに瞬間的であるため、私たちは目の前の「未知」を自覚することは少なく、また、その認識や見方は一度獲得すると、およそ不可逆的に固定化されてしまいます。いわばこれは、記憶や経験のなかにある実体のともなわない認識の雛形を「オリジナル」として、そこに目の前の未知を当て嵌める、つまり未知をオリジナルのコピーにしてしまうことであり、ここで私たちは雛形に沿わない「未知」を取りこぼしてしまっているといえるのではないのでしょうか。

楠本は作品によって『私たちの「見る」が、それがそれであると認識する前の状態に戻れること、あるいは少しでも未知に接する状態を留めること』を目指しているといえます。そして、そのことで私たちの「未知から既知」への認識が、何によって・どのように「つくられていくのか」を観察しようとしているといえます。これは、いわば「伝言ゲームの伝えまちがい」の経緯を観察することに似て、オリジナルが様々な人(媒体)を経て伝達(コピー)される過程で、それぞれの思い込みなどによる些細なエラーがどのように混入し、どのように帰結するのかを見ることで、私たちの認識がどのような因子や流れを持っているのかを知る手立てであるといえます。

本展において、こうした作品の発展として、シリコンではなくコンクリートを用いた作品およそ10点を発表する楠本は、ここに「イメージと物質を同時に眺めることができる状態」をつくりだすことで、より多様なエラーが起こる状態を作品の鑑賞につくりだそうと試みます。

no_name

楠 本 孝 美

Kusumoto Takami

2017年6月20日[火] — 7月2日[日] 月曜休廊 11:00 — 19:00 金曜日は20:00まで



【広報画像02】 過去作品 (untitled) 64×62cm シリコン・インク

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上【info@galleryparc.com】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 no_name 楠本孝美展

出展作家 楠本 孝美 Kusumoto Takami

会 期 2017年6月20日[火] — 7月2日[日] 11:00~19:00 月曜日休廊 / 金曜日のみ20:00まで

料 金 無料

内 容 【インスタレーション】
コンクリートを支持体として、さまざまな転写の技法を組み合わせながら、特定の物語を持たないイメージを創出する楠本孝美の個展。

会 場 Gallery PARC [グランマール ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

ア ク セ ス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。三条通・御幸町通の交差点北西角 [グランマール] 店舗内2階

問 い 合 わ せ Gallery PARC (正木・武本・村田) 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル [グランマール] 2F
【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

no_name

楠 本 孝 美

Kusumoto_Takami

2017年6月20日[火] — 7月2日[日] 月曜休廊 11:00 — 19:00 金曜日は20:00まで



【広報画像03】 過去作品「untitled」 68×68cm シンコン・インク

「未知を取りこぼさないために」

何かを見るとき(捉えるとき)、“それ”を捉える為の枠、フィルター、物語(背景)を通してそれを見ようと(理解しようと)する。

その枠やフィルターは、経験や知識といった“既に知っていること”、“知っていると思っていること”をもとにつくられる。

昔に流行った3D立体視のステレオグラムやだまし絵のように、一度「見方」を知ってしまうと、最初に見ていた図像はもう見ることが出来なくなってしまう。

放送終了後のテレビ画面。

もしかしたら、あの砂嵐の中にあったかもしれない美しい(かもしれない未知の)イメージをもう私は見ることは出来ない。

楠本孝美

【略歴】

2010 成安造形大学造形学部美術科洋画クラス 卒業

2013 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻細目版画 卒業

個展 |

2010 「赤 は 、 の い ち ご あ な た で あ る。」

2010 「赤 は 、 の い ち ご あ な た で あ る。」

グループ展 |

2016 未来の途中 手立てと方便

2015 オブジェダール もう一つの未来の途中展

2015 Slice Pack

2014 あれからの、未来の途中-美術・工芸・デザインの新鋭12人展-

2014 未来の途中-美術・工芸・デザインの新鋭12人展-

2013 TOKYO WONDER WALL 2013

2013 Little Melodies

2013 科学のあとに詩をかくこと

2012 Emotion Release :replies

2011 amour アムール

2009 Art Camp2009

受賞歴 |

京展2012 館長奨励賞受賞

THE PALACE SIDE HOTEL/京都

GALLERY ARTISLONG/京都

京都造形芸術大学ARTZONE/京都

京都工芸繊維大学 D-labアネックスににぎ/京都

ギャラリー16/京都

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都

京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 /京都

東京都現代美術館 /東京

HOTEL ANTEROOM KYOTO GALLERY9.5/京都

ギャラリー16/京都

成安造形大学 ギャラリーアートサイト/滋賀

Gallery PARC/京都

サントリーミュージアム/大阪